

安倍派・二階派を捜索

裏金疑惑、政権に打撃

特捜部 全容解明へ



自民党安倍派（清和政策研究会）の事務所が入るビルに家宅捜索に向かう東京地検特捜部の係官ら
11月19日午前9時58分、東京都千代田区

自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金疑惑で、東京地検特捜部は19日、政治資金規正法違反の疑いで、東京都千代田区にある安倍派（清和政策研究会）の事務所と二階派（志帥会）の事務所をそれぞれ家宅捜索した。安倍派の裏金は最近5年間で5億円規模に上る可能性がある。一連の疑惑は最大派閥への強制捜査に発展し、岸田政権への打撃は必至だ。特捜部は長年続いてきた慣行の全容解明を目指す。

安倍派も二階派も、議員側がパーティー券の販売ノルマを超えて集めた分を、政治資金収支報告書の収入に記載せず議員側に還流。安倍派では支出にも記載せず、受領した議員側も収入として書いていなかった。一方、二階派では還流分は派閥側に支出として、議員側は収入として、それぞれ記載されていたという。

安倍派では派閥ぐるみで裏金をつくられていたとみられる。安倍派議員への聴取を進めている。

派内の実務を取り仕切るのは事務総長で、不記載罪などの時効がからない5年間では、下村博文元文部科学相、松野氏、西村氏が務め、現在の事務総長は高木氏が担っている。特捜部は安倍派議員への聴取を進めている。